

「人・農地プラン」等の策定に活用できる地域農業情報

— 茨城県筑西市版 —

I 地域農業情報の利用方法と留意点

1. 利用方法

- この地域農業情報は、「人・農地プラン」等、地域農業の将来ビジョンの策定に向けた合意形成を促すことを目的に、地域にある農業生産要素とその利用状況や将来予測値を示すとともに、地域農業の担い手経営の特徴と動向を営農類型等より明らかにしています。
- 「II 地域農業の現状と特徴」では、地域農業の基本的生産要素である、農業経営体数・農地面積・農地利用状況・作目別作付面積等を示しており、担い手経営への農地の集積状況等を確認できます。
- 「III 農業就業人口及び販売農家数の推移と将来予測」では、地域の農業就業人口・販売農家数・離農に伴う供給農地面積の推移と2020年までの予測値を示しています。
- 「IV 地域農業の担い手経営の動向と特徴」では、地域の担い手経営（農地面積4ha以上の販売農家または法人組織経営体）の動向を、組織形態・雇用の有無・営農類型別に示しており、農地面積の増加している営農類型とその経営規模等を把握できます。
- これらの情報をもとに、地域農業の担い手となる経営体の特徴と将来的に確保していく必要のある経営体数等を把握することが可能となり、地域農業の将来ビジョン策定等に向けた合意形成を行う際の参考にすることができます。

2. 留意点

- この地域農業情報は、農林業センサスの個票等を組み替えて集計・予測したものです。
- 販売農家数・組織経営体数・畜種ごとの家畜飼養経営体数・営農類型別の経営体数が、2以下の市町村については、各経営体の農地面積・農業労働力・家畜飼養頭羽数・販売金額は提示できませんので、図表も表示していません。
- 農業就業人口の予測は、コーホート法により年齢階層別の農家人口を予測し、2010年の各年齢階層の就農率（農業就業人口／農家人口）を乗じて農業就業人口を算出しています。
- 販売農家数の予測は、農業地域ごとに、経営規模階層・経営主年齢・農業就業人口を適宜組み合わせさせて2000年から2005年の販売農家の動態表を作成した上で、2010年の販売農家数の予測を行い、当該予測値と実数値とを比べて最も適合する組み合わせを確認します。その組み合わせを用いて2005年から2010年の動態表を作成して、2015年、2020年の予測を行っています。ただし、東北、北陸、北九州では2005年から2010年にかけて特定農業団体が急増しており、統計上、実態以上に構造変化が進んでいる結果となっています。この間の構造変化を将来予測に用いると、販売農家数は極端に減少する結果になります。このため、これらの地域では、特定農業団体増設の比較的少ない、東北は福島県、北陸は石川県、北九州は長崎県・熊本県・大分県の動態表を用いて予測を行っています。
- 離農に伴う供給農地面積は、経営規模階層別の販売農家の離農予測値に、2010年の各階層の平均農地面積を乗じて推計しています。
- 営農類型は、農産物の販売金額上位3部門の組み合わせで類型化しています。
- 農産物の販売金額は、2010年センサスでは、「販売なし」から「5億円以上」までの17階層への分類がなされています。2005年センサスでは、階層ではなく実数値で調査が行われており、これを利用して各販売金額階層の平均値を求め、2010年の各階層の販売金額にもこの値を用いています。

II 2010年センサスによる地域農業の現状と特徴

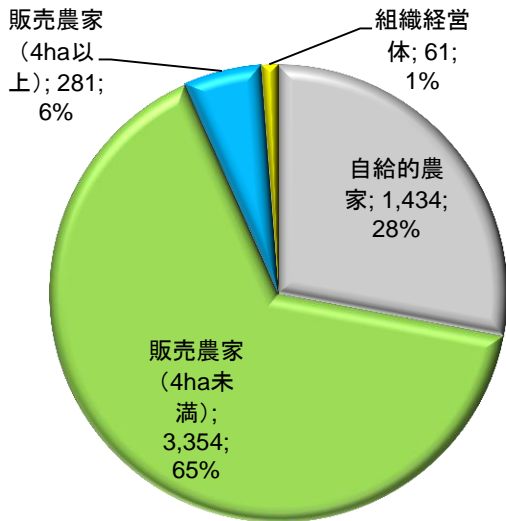


図1 農家数と組織経営体数

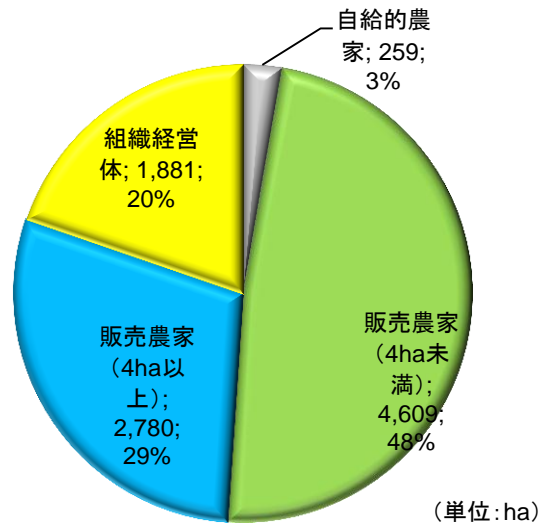


図2 農家分類・組織経営体別農地面積

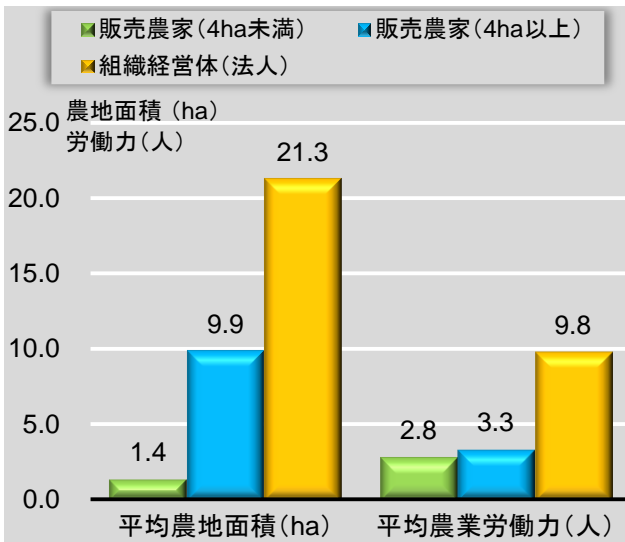


図3 農業経営体の生産要素の現状

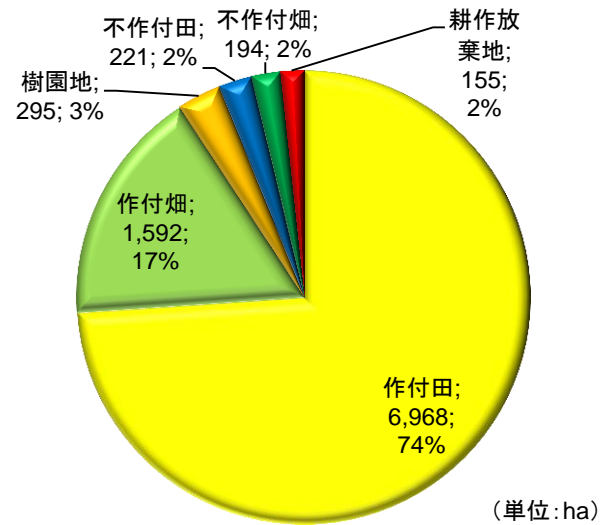


図4 農地の利用状況(経営体計)

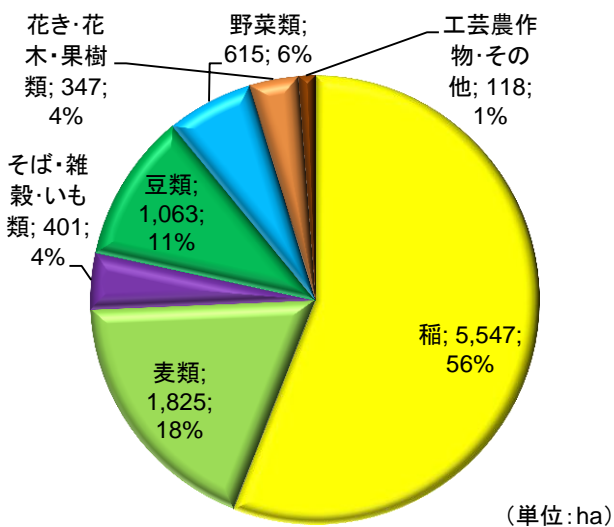


図5 作目別作付(栽培)面積(経営体計)

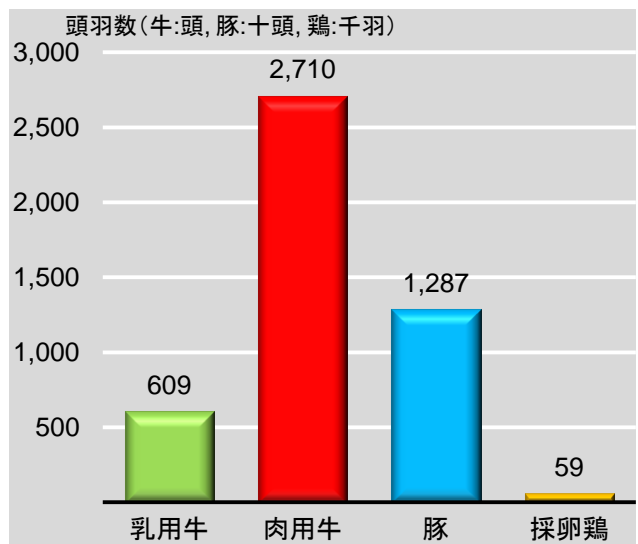


図6 家畜飼養頭羽数(経営体計)

Ⅲ 農業就業人口及び販売農家数の推移と将来予測

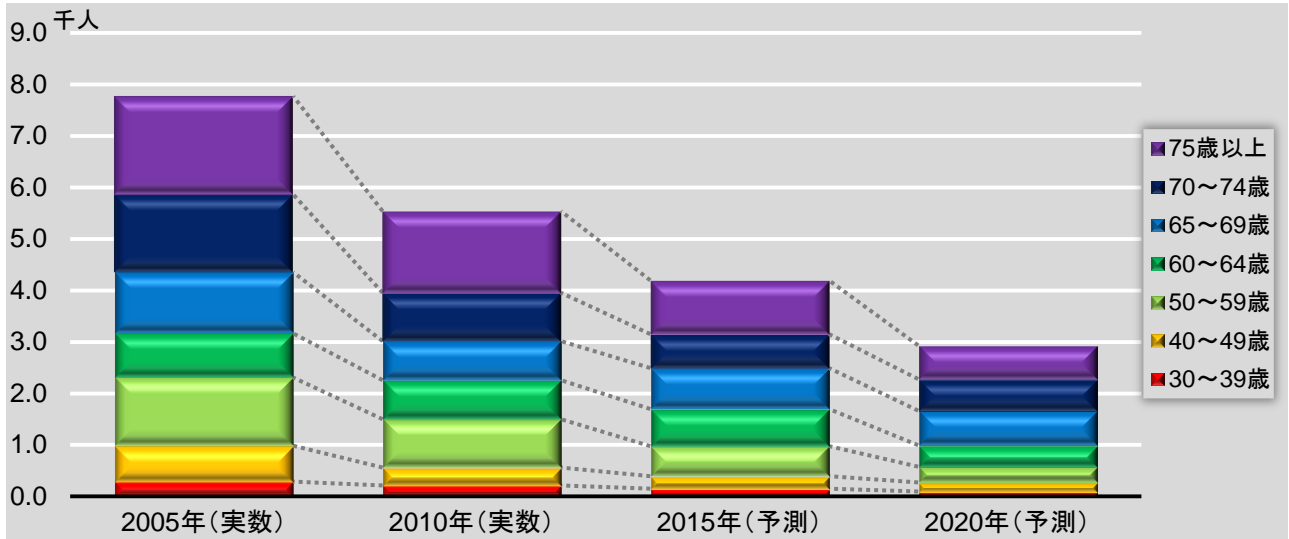


図7 農業就業人口の推移と将来予測(販売農家)

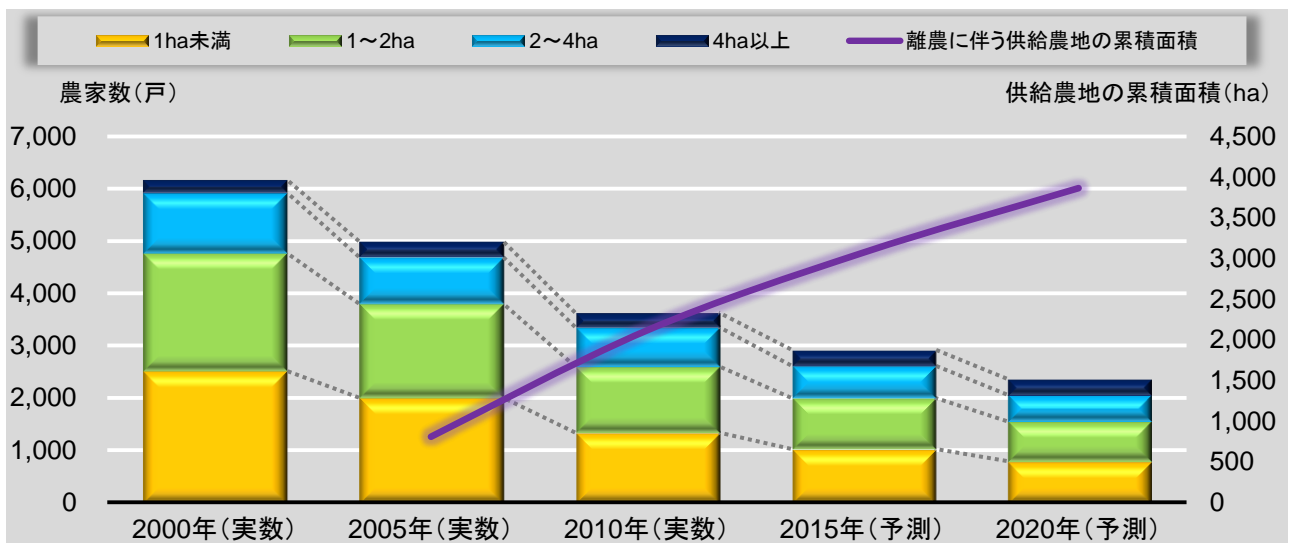


図8 販売農家数と離農に伴う供給農地の累積面積の推移と将来予測

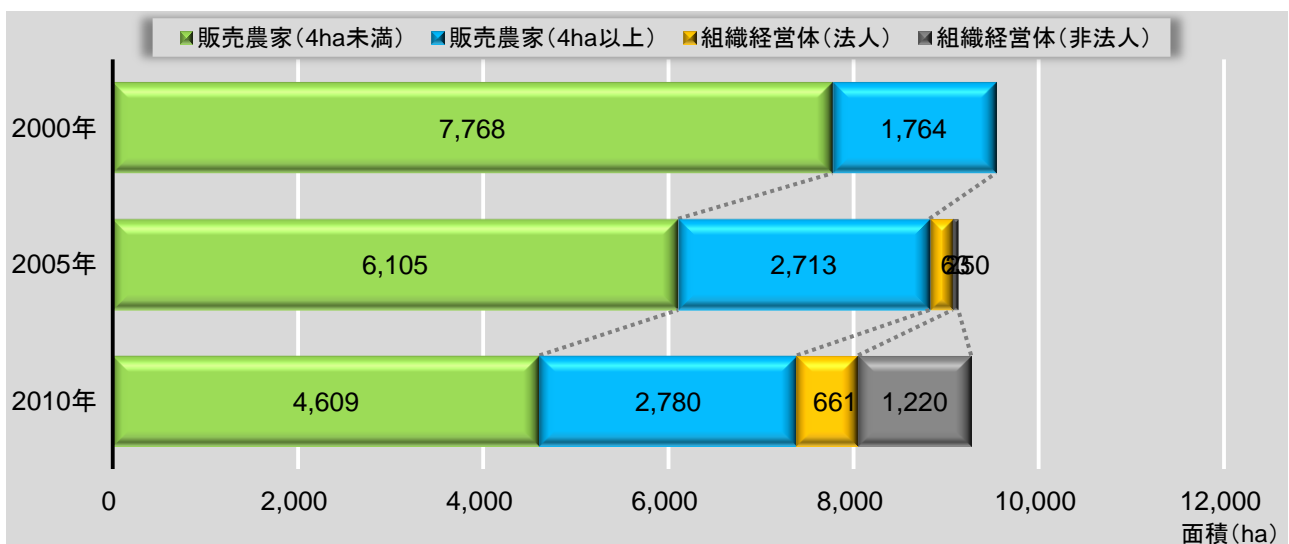


図9 経営体別の農地面積の推移

IV 地域農業の担い手経営の動向と特徴 — 4ha以上の販売農家と組織経営体(法人) —

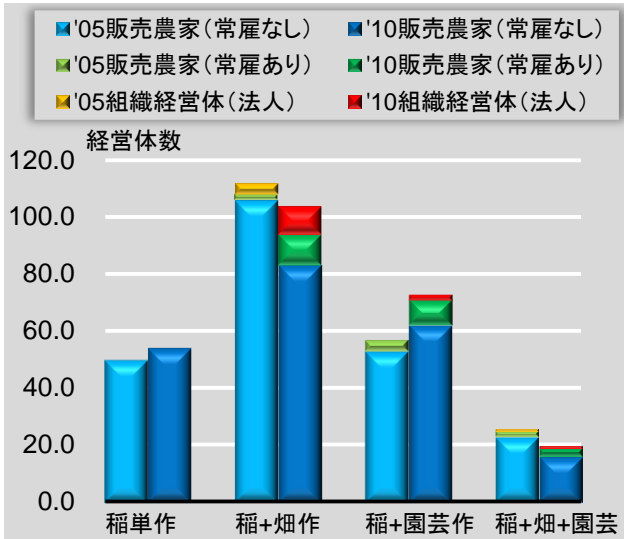


図10 営農類型別にみた経営体数の推移

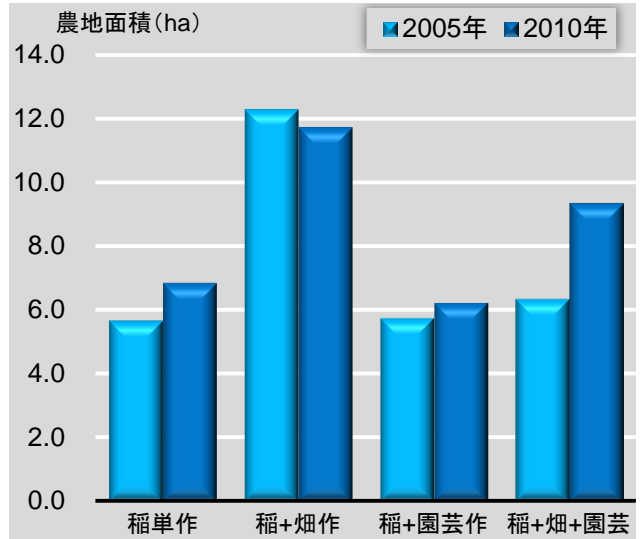


図13 営農類型別にみた経営規模の推移 — 販売農家(常雇なし) —

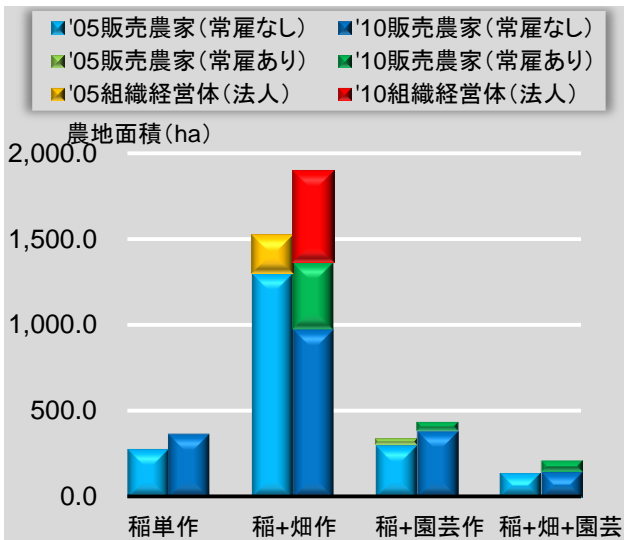


図11 営農類型別にみた農地面積の推移

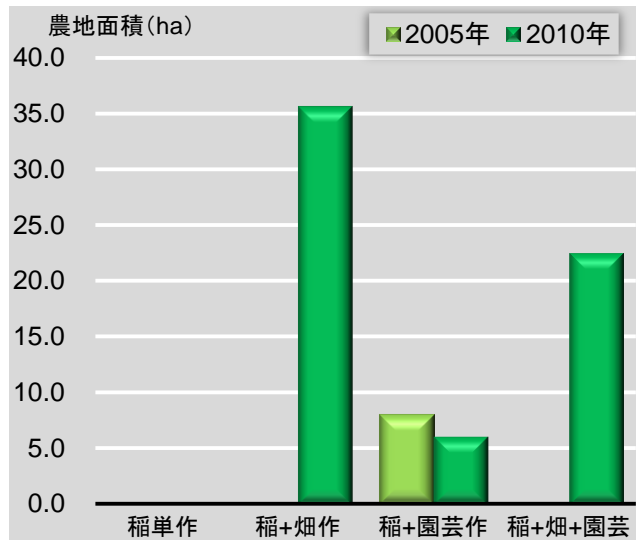


図14 営農類型別にみた経営規模の推移 — 販売農家(常雇あり) —

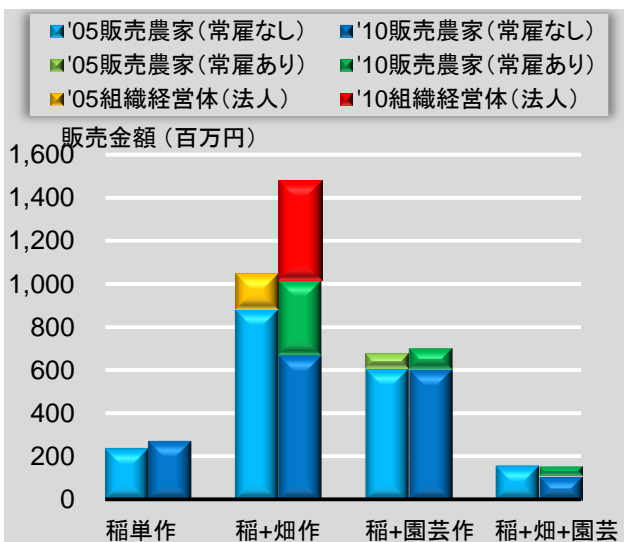


図12 営農類型別にみた販売金額の推移

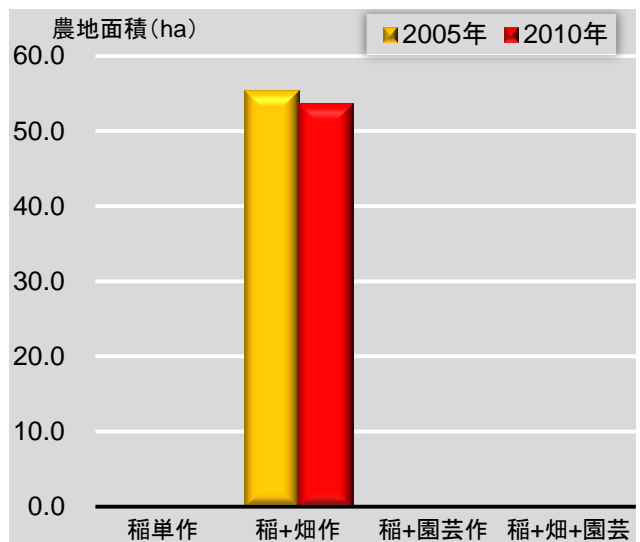


図15 営農類型別にみた経営規模の推移 — 組織経営体(法人) —

表 主要営農類型の経営体数と農地面積の推移

主要営農類型	経営体数			農地面積 (ha)		
	2005年	2010年	変化率 (%)	2005年	2010年	変化率 (%)
稲作	50	54	8.0	284	370	30.3
稲作+麦類作	43	34	-20.9	395	229	-42.0
稲作+麦類作+雑穀・いも・豆類	75	63	-16.0	1,186	1,588	33.8
稲作+雑穀・いも・豆類	1	7	600.0	…	85	—
稲作+施設野菜	30	37	23.3	146	231	58.2
稲作+露地野菜	10	14	40.0	61	85	38.8
稲作+露地野菜+施設野菜	8	9	12.5	45	57	27.5
稲作+果樹類	4	8	100.0	37	58	59.4
稲作+麦類作+露地野菜	8	10	25.0	49	112	128.0
稲作+麦類作+施設野菜	4	—	—	20	—	—
稲作+麦類作+果樹類	7	33	371.4	56	223	294.4
稲作+雑穀・いも・豆類+露地野菜	4	4	0.0	27	49	81.6
稲作+雑穀・いも・豆類+施設野菜	—	—	—	—	—	—
稲作+雑穀・いも・豆類+果樹類	3	1	-66.7	16	…	—
稲作+肉用牛	—	—	—	—	—	—
稲作+工芸農作物	3	1	-66.7	15	…	—
麦類作+雑穀・いも・豆類	—	—	—	—	—	—
露地野菜	2	2	0.0	…	…	—
果樹類	2	1	-50.0	…	…	—
工芸農作物	—	—	—	—	—	—
工芸農作物+肉用牛	—	—	—	—	—	—
酪農	2	2	0.0	…	…	—
肉用牛	—	1	—	—	…	—